



最近、就職難やリストラ対策として、資格取得熱が高まっている。資格はスキル保証と、取得への勉強による能力向上があるので、必要である。しかしながら、いったん取得すれば、半永久的と言われる有効期限を疑問に思う。

私は、多少コンピュータ業界に関わっているが、この業界は資格花盛りである。次々に新しい技術が登場してくるからである。その余波で、ユーザーだけでなく社内でも、新技術がすっかり取得できているのかを把握できない。必然的に資格取得が、重要で明確

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

資格のスキル保証を考える

P²なるバージョンが付記されているのはご存知だと思います。今や、就職必須資格のMOUS(※)で、Word98を取っても、どんなバージョンがアップしていく。そうすると、何年かすると資格そのものが陳腐化してしまう。IT関連の資格の中では、次のバージョンが出た段階で、シビヤ

な技術証明書になる。ただし、他の資格と違うのは、資格に有効期限があるという点だ。それも、新技術の研修を受講すれば、更新というものはない。

皆さんがよくご存知のマイクロソフト社のワープロソフト・Wordで簡単に説明すれば、98やX

に資格認定そのものが無くされるものもある。私が今年の九月に取得した日本赤十字社救急法救急員の資格も、有効期限は三年である。実践で使わないと忘れるからということだ、そのたびにゼロから同じ研修を受講し、試験に受からなければならぬ。スキル保証には欠かせない措置である。また、時代の変革

。何十年も前に取得した未使用資格を、そのまま履歴に記載していることに、疑問を感じるのは私だけだろうか？

スキルを保てていない人が、その資格で許可されている行動を取る事により、周囲に迷惑をかけるだけでなく危険をとまなう可能性もある。また、時代の変革

と試験(資格者としてのスキル確認)を、積極的に検討すべきでないだろうか。こう書きながら、自分の持っている資格を考えてみた。堂々と言えるものは、いくつあるのだろうか？正直、寒いものがある。そう思う人も多いのではないだろうか。

資格を「取得した」と言うだけの時代は終わりにし、「現状スキル保証」という時代にならなければ、費用と時間をかけ一生懸命勉強し取得した資格は、自己満足の世界で終わってしまう……。

◇ ※MOUS(Micro Soft Office User Specialist)とは、マイクロソフトのOffice製品の利用能力を、証明できるマイクロソフト主催の世界共通資格試験制度。